

## 5 アジアに展開している日系企業にとって 現地での処理・リサイクルが困難な循環資源

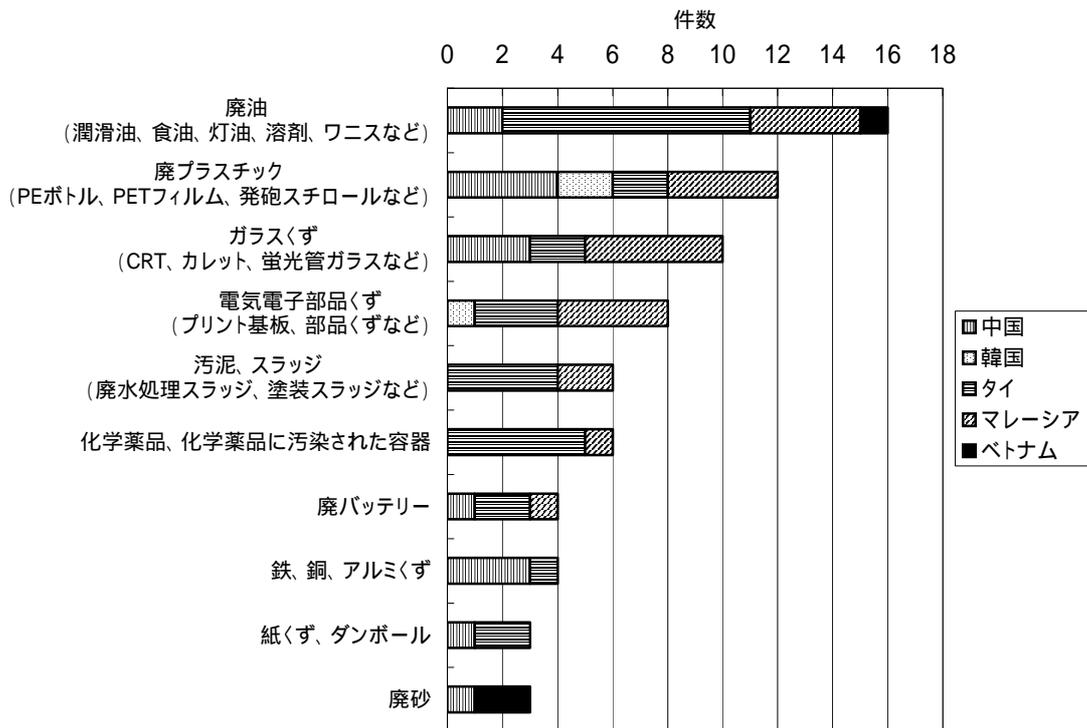
### <リサイクルが困難な循環資源>

平成 14 年 11 月、九州経済産業局がアジア各国に現地事業所を持つ日系企業 779 社を対象にアンケート調査を行った。その結果、「現地でのリサイクルが困難である」との回答件数が最も多かったのは廃油であり、特にタイではその傾向が顕著である。次いで廃プラスチック、ガラスくずという順になっている（図 1）。

### <処理が困難な循環資源>

同アンケートの結果、「適正な処理が困難である」との回答件数が最も多かったのは、リサイクル困難物と同様に廃油であった。廃プラスチック、金属くず、紙くず及び廃砂以外は、リサイクル困難物として回答があったものが処理困難物としても挙げられている（図 2）。

### <リサイクルが困難な循環資源>

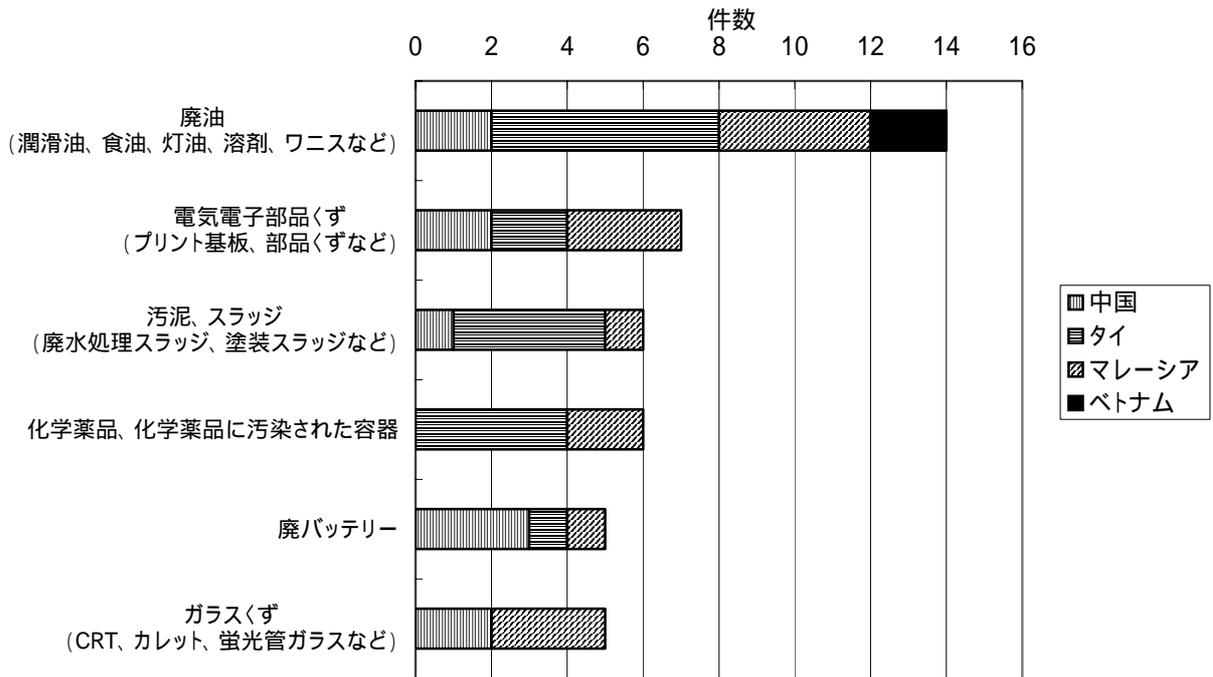


出所：九州経済産業局「平成 15 年アジア進出日系企業等 資源循環対応ニーズ調査」より作成

注：対象とした企業は中国、韓国、タイ、マレーシア、ベトナムの 5 ヶ国に事業所を持つ、各業種での売上が上位の日系企業である。アンケート送付数は 779 事業所で、そのうち回収されたのは 238 件であった。

図 1 リサイクル困難な循環資源

**< 処理が困難な循環資源 >**



出所：九州経済産業局「平成 15 年アジア進出日系企業等 資源循環対応ニーズ調査」より作成

注：対象とした企業は中国、韓国、タイ、マレーシア、ベトナムの 5 ヶ国に事業所を持つ、各業種での売上が上位の日系企業である。アンケート送付数は 779 事業所で、そのうち回収されたのは 238 件であった。

図 2 処理困難な循環資源